

## 第2回「東海財界倶楽部」例会開催

# 中部日中経済交流会会長 大矢裕慈氏を招いて開催



大矢裕慈氏講演を行う

平成二十六年四月二日、第二回「東海財界倶楽部」例会が開催された。同会は東海地方で活躍する経営者を中心とした異業種交流会。当日はNPO法人中部日中経済交流会会長・理事長の**大矢裕慈氏**が「中国人とのつきあい方」と題して講演。親睦会などが行われた。

平成二十六年四月二日、名古屋観光ホテル一八階「鈴鹿の間」(名古屋市中区錦一丁目一九―三〇)にて、第二回「東海財界倶楽部」例会が開催された。

「東海財界倶楽部」は、愛知県・岐阜県・三重県に拠点を有する

トップ経営者を中心とした異業種交流会。経営者同士の知識・情報の交換および意識向上の機会を設けることを目的とする。

第二回の例会となる当日は、午後六時から受付を開始。正会員・準会員を含め中部地区で活躍する

経営者ら約三〇名が出席した。

午後六時四十五分からの第一部では、NPO法人中部日中経済交流会会長・理事長である**大矢裕慈氏**を講師に迎え、演題を「中国人とのつきあい方」として講演。

同会の目的は、日中両国民間の相互理解と友好関係を増進し、発展させるために、中部地区内で経済・文化など各分野での交流事業を行い、国際協力の推進・発展に寄与すること。定例

会開催を兼ねたビジネス視察旅行や、講演会やセミナーの開催・協力などを行っている。

当日は会の紹介と共に、中川日産サービス代表取締役でもある**大矢氏**がビジネスや会の活動を通じて蓄えた、中国人との交流の秘訣を披露。酒席での驚きの慣習から、共産党の組織図についてまで広く語った。また、質問に答えて今後の日中関係の見通しについても解説した。

午後七時三十分からの第二部では、ゲストに迎えた中部経済産業局の**山本雅史**局長が「中部日中経済交流会には参加しているが、聞いたことのない話があり有益だった」と語り、東海財界倶楽部の発展を祈って乾杯。立食形式での晚餐を交えた親睦会が和やかに行われた。

最後は日本公認会計士協会東海会の**渡辺錠一**事務局長による一本締めによる中締めが行われた。

次回の「東海財界倶楽部」例会は平成二十六年六月六日午後六時半より、ホテルオークラレストラン一四階「暁の間」にて開催予定。